

事業所名 社会福祉法人無量会なでしこ

公表日 2025年1月15日

利用児童数

34人

回収数

22人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	17			5		利用児の実態に合わせた教具教材（絵カードやスケジュール等）を作成し、訪問先の担当者と支援方法を適宜検討しています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	20	1		1		療育室とは別に面接室を用意しています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	22					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	20	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	20			2		訪問員は利用児の特性や職員の資質に合わせて今後増やしていく予定です。現在心理士資格を持った訪問員が実施しています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1	親が理解しがたいところもしっかり把握して支援していただきありがとうございます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21			1		利用児と保護者のニーズをふまえ、担当者会議を事前に行い十分に議論した上で、検討内容を個別支援計画に反映するようにしています。会議内容はその場で了承を得て記載するようにしています。訪問先の活動や授業の妨げにならないよう、十分に留意し実施しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	19	1		2		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			3		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1		1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	18			4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21		1			初回面談は必ず行い、契約時に運営規定や利用者負担等の説明は行っています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21		1		いつもしっかりと具体的な計画を立てていただき説明も丁寧にしていただき感謝しています。	個別支援計画は6カ月に1度作成し、説明と同意を得ています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	18	1	1	2		保護者会は年に数回開催し、毎回10名前後の参加者と、同法人内事業所の職員も含めて開催している。今後も保護者の要望を伺いながらテーマを決定し継続予定。また、電話連絡やLINE等の情報共有を適宜行い、お子さんの様子や訪問内容が分かるように情報共有を行っています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	21			1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1				
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		2		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			2	いつも相談できる体制で何か不安がある時には迅速に対応して頂いている。	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	19	1		2	訪問で助言して下さったことをすぐに実行していただきありがたく思っています。	訪問した際には支援内容は紙面にて訪問先施設にお渡ししています。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	20			2		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	22				訪問内容をフィードバックしてもらえるようになりとても分かりやすくなりました。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	1	6		自己評価結果はホームページに毎年公表しています。研修会や保護者会がある場合は個別に連絡やパンフレットを作成し周知しています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			3		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	20			2	とても丁寧に話し合ってもらっていると感じています。	事業所での緊急時の対応はBCPIに基づき作成しています。訪問先の緊急時の対応も今後確認し実践していきます。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20		1	1		子どもの安全に配慮した環境設定を心掛けています。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	21			1		現在訪問支援に対する子どもからの拒否はみられません。
	28	事業所の支援に満足していますか。	21	1			困ったことなどを相談することができて感謝しています。 このような支援があり、本当にありがたいです。いつでも専門性のある支援を受けられるこんな幸せなことは無いです。いつも本当にありがとうございます。	

事業所名		社会福祉法人無量会なでしこ		公表日		2025年1月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1		どちらとも言えないため1件無回答あり 改善の余地あり	人員配置基準は余剰ある状態で満たしている。今後も利用状況に合わせて適切な人員配置を心掛けていく。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	期待、希望する	ミーティングの機会は定期的に設けている。意見把握や業務改善に向けた話し合いの機会は今後も設定していく。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		法人とは別で個人や自主グループで参加や企画を行っている。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	1		個別支援計画をスタッフ全員が立てることが出来るように、担当が計画案を作成し、児発管含めスタッフ間で十分に検討した上で完成させている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		必要に応じてフォーマル・インフォーマルな各検査を実施している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1		虐待研修やハラスメント研修等を定期的実施している。療育に関する研修会等の情報共有も積極的にを行い、自己研鑽に努めている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		自立支援協議会子ども部会には毎回代表者が参加をしている。 地域の基幹センターや行政から要請があれば積極的に参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1		各種マニュアルは策定しており、警報時など必要に応じてマニュアルの情報開示は行っている。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	1		子どもの安全に配慮した環境設定を心掛けています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問支援）

事業所名

公表日

2025年1月15日

社会福祉法人無量会なでしこ

利用児童数 34人 回収数 9人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>療育の視点から関わり方や環境設定について具体的な助言をいただき実践しやすい。</li> <li>一人ひとりの教育的ニーズに応じてぴったりなことを提示していただき、教職員の対応力も向上している。</li> <li>分かりやすく説明して頂けるので取り入れやすかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問先施設の先生方や保護者に合わせた具体的なアドバイスや説明を今後も継続していきたいと思います。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>共有できるところばかりで学校としても助かっています。</li> <li>困りごとを相談し共感してもらえるが適切な対応が得られない時もある。</li> <li>自閉症に対する造詣が深く、理論と実践両面からの指導がありがたい。</li> <li>自分の知らないことをたくさん教えて頂けるので勉強になりました。</li> </ul>	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>月に何度か訪問してもらえるため、困り感をすぐに伝えることができ、支援した結果をすぐに伝えられたりしている。</li> <li>どんな質問にも即笑顔で回答、「なるほど、やってみよう」と思える内容である。</li> <li>いろんな質問をさせていただきましたが、的確な答えがすぐに返ってくるので助かりました。</li> </ul>	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のことに関わるため未回答1件</li> <li>保護者の願いと学校の思いのズレが縮まり、同じ方向に向かう環境の下で子どもが安心して過ごしている。</li> <li>相談することで解消されることばかりでした。</li> </ul>	
5	事業所からの支援に満足していますか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と教師の連携がスムーズになるようつないでもらえてありがたい。</li> <li>支援児が訪問支援員の訪問に嬉しくなりいつもの様子でなくなることが多い。</li> <li>満足しています。お忙しい中時間を作って頂きありがとうございました。</li> </ul>	
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の想いを十分理解し、学校への指導や助言、提案をいただいている。十分連携ができており頼りになる（学校も安心）。学校、保護者、事業所が情報共有できるよう支援いただいている。</li> <li>いつも丁寧にご指導いただき感謝している。毎回児の特性に応じた的確で具体的な助言をいただき、また、担当保育教諭の悩みにも寄り添って励ましていただき、明日も頑張ろうと前向きな気持ちになる魔法の言葉をかけていただきました。</li> <li>来年も保護者の方が希望されることを期待しています。</li> <li>継続的に来てもらうことで課題が共有でき支援に繋がりがやすい。</li> <li>訪問支援員には丁寧な対応と、担任等に負担軽減を配慮しながら常に中立公正な立場で関係教職員と接し良好な関係を築いている。</li> <li>特別支援教育の高度な専門的知見から当該児童生徒の発達ニーズに対して教職員への助言や実践的指導を適宜行っていただいている。日常的に質問しやすい雰囲気がある。次年度も成果や課題を共有し切れ目のない支援に繋がる連携ができることを期待している。</li> <li>支援ファイルの書き方を教えていただき嬉しかったです。またお願いしたいです。</li> </ul>						

○事業所名	社会福祉法人無量会なでしこ		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日		令和6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	77人	(回答者数) 47人
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	3事業（児童発達支援事業、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業）を多機能事業所として運営している。事業所と家庭、園や学校と連携が図りやすい体制が整えられている。	・保護者とはモニタリングをはじめ、細やかな電話、LINE等の連絡手段を活用した報告、連絡、相談を意識して実施している。 ・学校とは保育所等訪問支援やトライアングルプロジェクトを通して密な情報共有を実施している。	・園や学校、保護者との会議や面談の機会には積極的に参加していく。 ・保護者との密な情報共有を図り家族支援を充実させていく。
2	学校や園での情報と、利用児の思い、保護者のニーズに対してタイムリーな対応を心掛けている。	・こまめに家庭と関係機関から普段の生活での様子を聴取している。（訪問時、送迎時、モニタリングの機会を通して） ・環境設定や行動面の調整が必要になった場合、すぐにスタッフ間で対応を検討し、日々の療育計画の変更を実施している。	・継続して細やかな情報収集を行い常に利用児に合わせた支援を心掛けることができるように努めていく。
3	アセスメントに基づいた療育を実施している。	・行動分析や必要に合わせて心理発達検査によるアセスメントを行い、療育技法を活用したティラーメイドの支援を行っている。	・研修会等に今後も積極的に参加し、知識・技術の研鑽を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設設備、教材、人員といった利用児に合わせた対応を行うための環境調整の不足がある。	・清掃等は日頃行っているが、段差解消等の施設設備バリアフリー化がなされていない部分がある。 ・人員配置基準は余剰ある状態で満たしているが、多機能事業所ということもあり、3事業の事務処理や準備も含め余裕を持った業務遂行が難しい時がある。自立課題等の教材作成にかかる時間が足りないことはある。	・今後も利用状況に合わせて適切な人員配置を心掛けていく。 ・必要な事務処理や教材準備の整理、時間の設定等を検討していく。 ・利用児に合わせたバリアフリー化を進めていく。
2	全体で行うケースカンファレンスが少ない。	・多機能事業所として運営しており、各事業での利用前後のカンファレンスは実施しているが、全体でのケースカンファレンスはまだ月1回程度。	定期的なケースカンファレンスの機会を検討していく。
3			